

社会保険倶楽部 福島支部 第100回記念ゴルフ大会に思う

ゴルフ幹事 篠原 孝男

令和7年9月29日（月）、当支部ゴルフクラブの第100回記念大会を開催しました。ゴルフ幹事をお引き受けして3年になりますが、この節目の大会に携われたことをとても光栄に思っています。

会場は、会員の皆さんができるだけ参加しやすいよう、アクセスの良いパイロンネelsonカントリークラブを選びました。このゴルフ場は27ホールあり、料金も比較的手ごろで、平日なら食事付きで4,000円～6,000円台でプレーできます。ただ、いつも混み合っている人気コースのため、予約は1年前から早めに行っています。

大会の運営は、参加費と社会保険倶楽部福島支部からの助成金でまかっています。今回は100回の節目を記念して、各賞（賞品）をこれまでより充実させ、できるだけ多くの方に入賞のチャンスと楽しみを感じていただけるよう工夫しました。

当日は、まだ少し暑さが残っていましたが、穏やかな風が吹く絶好のゴルフ日和となりました。参加者は前回（5月開催）を上回る10名で、3組に分かれて18ホールを回りました。

大会の結果は次のとおりです。

優勝：大森さん（前回・第99回大会に続き連覇）

準優勝：篠原さん（筆者）

第3位：長尾さん

ベストスコア賞：平田さん

これまでの記録を振り返ると、第20回は近藤進さん、第25回は土屋功さん、第50回は鹿山正悟さん、第75回は長尾茂さんが優勝されています。懐かしいお名前も並びますが、第75回優勝の長尾さんは今回も第3位に入賞され、今も変わらず元気にゴルフを楽しまれています。

100回という大きな節目を迎えられたのは、支部の皆さんのご協力とご参加のおかげです。これからも楽しく、健康的にプレーできるゴルフ会を続けていければと思います。

《ゴルフを楽しむ、続けていくために》

私事ではありますが、ゴルフを楽しく、そして長く続けていくためには、やはり体力と満足できるスコアが欠かせないと思っています。

その体力づくりの一環として、地区のシルバー人材センターに会員登録し、春から秋にかけて主に空き地などの草刈り作業を行っています。ここ2～3年は、例年になく暑い夏が続いており、作業もなかなか大変ですが、良い運動になっています。

また、スコアアップのために朝夕に時々素振りを行っています。素振りをしていると若い頃の感覚が少しずつ戻ってきており、最近では当時のスコアに近づきつつあります。これからも素振りを続け、さらにスコアアップを目指していきたいと思います。

ちなみに、プレーは月1～2回程度で、スコアはレギュラーティーから100前後、シルバーティーから90台前半といったところです。体力が続く限り、無理なく頑張っていきたいと思っています。

もう一つ、私が日頃から心がけている言葉があります。

それは、「むずかしいことをやさしく、やさしいことをおもしろく、おもしろいことをおもく」というものです。

これは、人に物事を説明するときに専門用語をできるだけ使わず、分かりやすく伝えることを意識するための言葉です。現在も年金相談を受ける機会がありますが、この考え方が大変役に立っています。何事も「続けること」は簡単ではありませんが、続けるからこそ得られるものがあると感じています。

話は戻りますが、このゴルフ会は、以前は年3回、会場を変えて開催していたと伺っています。現在は、会場を固定して春に1回、秋に2回の年3回開催しています。今年はその開催から30年目の節目にあたる記念すべき年となりました。ここまで続けてこられたのは、歴代幹事の皆さんのご尽力のおかげです。

長年のご苦勞に心から感謝申し上げます。

歴代の幹事さんの中には10年以上務められた方もいらっしゃる、私の前任者も約10年続けられたそうです。本当に頭が下がる思いです。

私はまだ幹事になって3年目ですが、先輩方を見習い、これからも頑張っていきたいと思っています。

今後の課題としては、このゴルフクラブをより長く続けていくために、新しい会員の参加を増やすことが重要だと感じています。これからも会員拡大に努め、110回、120回と大会が続いていくよう力を尽くしてまいります。

このゴルフ倶楽部がこれからも末永く続くよう、幹事として運営にしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。